

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

2019 年度仁科記念賞 候補者推薦依頼

受賞対象：広い意味の原子物理学およびその応用に関し、優れた研究業績をあげた比較的若い研究者を表彰。受賞者には、賞状、賞牌および副賞(50万円/1件)を贈呈。詳細は仁科記念財団 HP (<http://www.nishina-mf.or.jp>) を参照のこと。推薦方法：次の書類を E-mail または郵送 (E-mail が望ましい) にて送付のこと (郵送の場合は 1 部)。書類の形式：電子ファイル (Microsoft Office Word (拡張子 .doc) または pdf ファイル) が望ましい (なお、古い論文など pdf ファイル化が難しい場合には印刷物のコピーも可 (1 部))。E-mail アドレスは nkz@nishina-mf.or.jp 仁科記念賞推薦票 A4 判 1 枚 (様式自由、上記本財団 HP からのダウンロードも可) 候補者の氏名 (ふりがな・英文表記を付する)・年齢・所属・職・連絡先 (勤務先電話・E-mail アドレス等)、業績の題目 (和文および英文)、業績の要旨 (10~20 行程度)、推薦者の氏名 (ふりがな)・所属・職・連絡先 (自宅または勤務先の所在地・電話・FAX・E-mail アド

レス)、候補者と推薦者との関係を記載。推薦理由書 A4 判・2~3 枚程度、参考となる論文のリストを含む。共同研究の場合は、各候補者の役割分担を記載。略歴 (推薦者がわかる範囲にて可)。特に対象となる業績の論文 (5 編以内)。推薦期限：2019 年 8 月 31 日 (土) 書類送付先：113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45 公益財団法人仁科記念財団 電話 (03) 3942-1718

令和元年度晝馬輝夫光科学賞の募集 令和元年度研究助成の募集

晝馬輝夫光科学賞 (1) 対象者：日本の光科学の基礎研究や光科学技術の発展に貢献する研究において、独自に独創的な研究業績を挙げた研究者個人 (応募締切時点で 45 歳未満の方)。外国籍の場合は、日本の大学等公的機関に 5 年以上在籍し、その間に対象となる研究成果の中核を形成された方。学識経験者の推薦書によるものとする。(2) 副賞：500 万円。(3) 応募締切：令和元年 6 月 28 日 (金) 必着。研究に対する助成 (1) 対象課題：第 1 課題：光科学の未知領域の研究—とくに光の本質に

ついて。第 2 課題：細胞間あるいは分子間の情報伝達についての研究。(2) 助成金総額：約 5,000 万円。(3) 応募締切：令和元年 7 月 12 日 (金) 必着。連絡先：公益財団法人光科学技術研究振興財団 430-0926 静岡県浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル 4 階 電話 (053) 454-0598 FAX (053) 454-1929 E-mail: info@refost-cs.or.jp <http://www.refost-hq.jp>

Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA 2019 の募集

対象分野：有機合成化学およびその関連分野応募資格：(1) 国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事し、2019 年 4 月 1 日の時点で満 40 歳未満の研究者。なお、ライフイベント (出産・育児・介護) により研究を中断 (休職) した場合、その期間に相当する月数を年齢制限の上限から延長する。(2) 国籍は問わないが、日本国内の大学または研究機関で実施された研究を対象とする。(3) 他者の推薦のある者。(4) 各賞 (BCA・学会賞・奨励賞・進歩賞) の受賞経歴は問わない。表彰：[Chemist Award BCA]：(1) 記念品 (盾) の授与、(2) 財団 HP、関連専門誌等での発表。[Lectureship Award MBLA]：(1) 万有シンポジウム (札幌、仙台、福岡のいずれか) での研究内容の発表および表彰式。(2) 海外の著名大学および研究機関における講演 (旅費支給)。(3) 財団 HP、関連専門誌等での発表。選考方法：選考委員会による選考を行う。[Chemist Award BCA] (数名)：2019 年 10 月頃決定予定。[Lectureship Award MBLA] (1 名)：2020 年 2 月頃決定予定。応募方法：

下記 HP からご応募下さい。応募締切：2019 年 8 月 15 日 (木) 応募・問合せ先：102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア 公益財団法人 MSD 生命科学財団 [BCA/MBLA] 事務局 https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/symp/bca/bca_entry.html

日本石鹼洗剤工業会 2020 年度グリセリン新規用途 開発研究助成の募集

日本石鹼洗剤工業会では 2020 年度グリセリン新規用途開発研究助成の募集をします。詳細は下記 HP 参照。助成額：1 件 50 万円 で 2 件上限。対象研究：グリセリンの新規用途開発研究・グリセリンを出発原料とした有用化学製品の開発研究・その他需要拡大につながる研究。対象者：大学、高専、公的研究機関に所属する研究者。応募方法：応募用紙は下記当工業会 HP で 6 月半ばよりダウンロード可。必要事項を記載の上、2019 年 8 月 31 日 (土) までに事務局まで郵送下さい。選考方法：選考は日本油化学会に委託し当工業会理事会で決定。選考結果は 2020 年 1 月末までに通知。連絡先：103-0027 東京都中央区日本橋 3-13-11 日本石鹼洗剤工業会 電話 (03) 3271-4301 <https://jsda.org/> グリセリンは、脂肪酸や石けんの製造過程で副生し、また近年は天然油脂を原料とするバイオディーゼル燃料の生産過程での副生という新しい発生源も加わっています。当工業会はグリセリンの新規用途開発の研究の奨励、援助を行い、もって有用なグリセリンの需要拡大、有効利用に寄与することを期待しています。

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限ります。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 掲載は1回に限ります。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できませんので、それらは本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ① 原稿は600字以内で作成して下さい(英文は和文の0.55字で換算)。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。
http://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industryより「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 掲載月以降に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。

②専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；ｱｶｶﾝ, 記号(約物)；,。〔(・/ 等
- ・ローマ数字；I II III IV, 丸数字；①②③④

【使用可能な文字例】

- ・全角カナ, 全角記号, アルファベットのI, V, X, Yを組み合わせてローマ数字を表現。
- ・文字の代わりに(1)(2)の表記を使用。

・組文字は全角(株)(有)mmでの表記にする。

- C) テキスト上で表現できない文字(外字, 作字)については使用を避けて下さい。なお, 人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で印し, 受理メール(受付番号付)に●印の指示を行いに送って下さい。その際, 投稿フォーマットの“連絡事項”に必ずその旨を表記して下さい。
- D) 文書中で書式指定(上付き, 下付き, イタリック体)を希望の場合は, タグ付け(HTML形式)をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P ^{2 +}$
 ・下付； $CO_2 \rightarrow CO ₂$
 ・イタリック；*italic* $\rightarrow <I> italic </I>$

- ③ 原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックすると別ウィンドが開きます。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はありませんので間違えないように作成して下さい。

- ④ 電子投稿が完了しましたら、自動的に受理通知メールを発信人宛に返信します。受理メールにて、受付番号、掲載予定号並びに投稿原稿内容が確認できます。受理通知が届かない場合は、正常に原稿が受理されていない場合がありますので、必ず受理通知をご確認下さい。

- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

●送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 当月25日まで；URLフォーマットの“連絡事項”欄に先に受け取った原稿受理通知番号、先の送信日付及び原稿差替えの旨を表記し再度送信して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。

- ② 26日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合せ先

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局 電話(03)3292-6165

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部

電話(03)5843-3580 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp